

(財)茨城県防犯協会

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	理事長 人見 實徳	所管部(局)課	茨城県警察本部生活安全総務課	
所在地	水戸市笠原町978番6	電話番号	029-301-6015	
ホームページURL	http://geocities.jp/ibarakibohan/	E-mailアドレス	ibouhan@jasmine.ne.jp	
資本金(基本財産)	146,768 千円	設立年月日	昭和31年4月1日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	30,000 千円	20.4 %
	2	常陽銀行	5,000 千円	3.4 %
	3	茨城県遊技業防犯協会の	2,040 千円	1.4 %
	4	日立製作所	2,000 千円	1.4 %
	5	茨城県建設業界	1,100 千円	0.7 %
	その他	83 団体	20,000 千円	13.6 %
設立目的	防犯協会は、犯罪のない明るい社会の実現を目指して、県民の防犯思想の普及、善良の風俗の保持及び風俗環境の浄化並びに少年の健全育成に寄与するとともに、各種防犯団体の円滑な発展を図ることを目的として、昭和31年4月1日に財団法人として設立された。			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内容
事業1 地域安全活動事業	7,700 千円	地域安全ポスターの作成、街頭犯罪抑止ポスター等の作成 自警団組織の活性化 女性部事業の推進 地域安全・暴力追放茨城県民大会の開催 防犯ポスターの公募等
事業2 広報活動事業	2,500 千円	広報誌「ちいきあんぜん」の発行 自転車防犯登録事業の広報 各季における地域安全運動 防犯関係図書の購入等
事業3 少年非行防止活動事業	2,350 千円	薬物乱用防止啓発活動 少年非行防止活動 少年白書の作成 非行防止ポスターの公募等

[組織]

7月1日現在の人数	平成14年		平成15年		平成16年				
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事	1	0	1	1	0	1	0	1
	非常勤理事	30	0	0	30	0	0	31	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0
	計	33	0	1	33	0	1	34	0
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	2	0	1	2	0	1	2	0
	臨時職員	2	0	0	2	0	0	2	0
	嘱託職員	24	0	0	24	0	0	25	0
	計	28	0	1	28	0	1	29	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数		
		1		1	2	49歳2月	5年2月		

[収支の状況]

(財)茨城県防犯協会

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	54,967	116,945	109,435
	事業収入	54,967	116,945	109,435
	事業外収入	0	0	0
	支出合計	53,835	116,580	108,377
	事業支出	53,835	116,580	108,377
	事業外支出	0	0	0
	うち管理費	8,883	8,930	9,075
	うち人件費	27,688	72,738	73,390
	当期収支差額	1,132	365	1,058
	正味財産増加額	17,530	76,112	67,452
	正味財産減少額	17,435	75,964	67,255
	当期正味財産増減額	1,227	513	1,255
前期繰越正味財産	152,174	153,401	153,914	
期末正味財産	153,401	153,914	155,169	
財 産 の 状 況	資産	165,436	170,659	174,765
	流動資産	14,958	18,953	21,883
	固定資産	150,478	151,706	152,882
	負債	12,035	16,745	19,596
	流動負債	10,350	14,252	16,295
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	1,685	2,493	3,301
	うち長期借入金	0	0	0
	正味財産	153,401	153,914	155,169

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	3,180	3,180	2,703
	委託金	12,915	76,755	67,455
	貸付金	0	0	0
	計	16,095	79,935	70,158
	財政的関与の割合(%)	29%	68%	64%
	損失補償・債務保証	0	0	0

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	地域住民による自主的防犯活動の促進を図り、安全で安心して生活できる地域社会を実現することを目的とし、内容は県民大会の開催、地域安全活動に功労のあった団体、個人の表彰、機関誌「ちいきあんぜん茨城」の発行である。効果として広く県民に防犯意識の高揚が図られ、受賞者の活動も活発になったほか、機関誌により、広く防犯協会の活動内容が知られ防犯に関する認識を高めた。
委託金	善良な風俗環境の維持を目的とし、内容としては、風俗営業の規制及び業務の適性化に関する法律に基づき、風俗営業を適正に行わせるため風俗営業の管理者を対象に講習を行うもの。効果としては、講習により法改正の周知、違反実態の周知等風俗環境の浄化を維持している。
貸付金	無し

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	2	14	14.3%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	24	40	60.0%
効率性	8	0	28	0.0%
合計	32	41	98	41.8%

公益法人会計用

(財)茨城県防犯協会

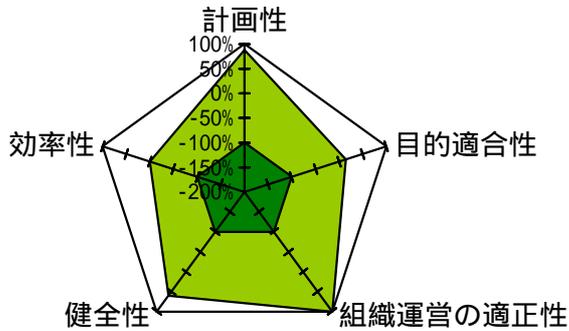
警戒指標

(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

経営評価レーダーチャート



[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>防犯サポーター事業が犯罪の減少に貢献していることなど、協会の活動には評価すべきものがある。 引き続き、設立目的に沿った効果的な事業を実施するよう努められたい。 なお、事業実施に当たっては、職員数が少ないことから、各警察署や地区防犯協会との連携を強化することが必要である。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>防犯協会は、民間防犯組織の中核として位置付けられ、安全で安心できる地域社会の実現を図るうえで有効な各事業を推進しているものであり、今後も、警察と防犯協会との連携強化を図り、同協会の設立目的に沿った効果的な事業が実施されるよう指導していく。</p>

(財)茨城県防犯協会から県民のみなさまへ

ここ数年犯罪が多発し、いわゆる「体感治安」が悪化しています。治安悪化の要因の一つとして価値観の多様化による連帯感の欠如が上げられます。連帯感の欠如は、地域の安全を考えたとき地域で解決することが非常に難しくなります。今や、「安全と水はただ」の時代ではありません。警察や行政に頼るのではなく「自分の身は自分で守る」ことが求められております。幸い、県内には多くの自警団が結成されています。自警団の活動内容は様々ですが、それぞれの地域で独自の地域安全活動を行っています。県民の皆様も、防犯に関心を持ち犯罪者が敬遠する「街づくり」をして頂きたいと思っております。茨城県防犯協会では、県民の皆様にも少しでも役立つ防犯対策や防犯活動の相談に応じております。防犯協会ホームページをご覧ください。

平成17年2月 理事長 人見 實徳

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>・中長期事業として、女性部の結成を掲げていたが、3月に29名をもって結成した。今後は研修の充実と「女性の視点」に立った活動を推進していく。</p> <p>・防犯連絡所拡充増強3年計画を推進中であり、本年度は約500所の増加が図られた。</p> <p>・自警団結成については、本年は50組織(7000人)が結成された。</p>	<p>防犯協会の設立目的である「犯罪のない明るい社会の実現を目指して県民の防犯思想の普及…」のため各種の事業を独自にあるいは、県警並びに各種防犯ボランティアの協力を得て、「安全・安心なまちづくり」のため、地域防犯活動の実績とノウハウを持つ防犯協会が、その中核として事業を推進している。</p>	<p>・職員は事業に見合った人員である。</p> <p>・情報公開については、(財)公益法人協会サイトに決算・予算関係、事業報告・事業計画、役員名簿等を公開している。また、1月にはインターネット上にホームページを開設して、各種防犯情報の共有化を図っている。</p> <p>・広報誌「ちいきあんぜん茨城」を年間3回各5000部発行している。</p>	<p>・基本財産は、国債、県債で管理している。</p> <p>・予算は中長期計画に基づく事業及び新規事業を取り入れて策定している。</p> <p>・正味財産については、平成15年度増加している。</p> <p>・平成15年度の補助金への依存度は前年並みであった。</p>	<p>・業務量が増加しているが現有職員で事務処理の効率化を図っている。</p> <p>・昨年は職員の給料を1.1%、期末手当を0.25%減額している。</p> <p>・受託業務である防犯サポーターの活動は、配置先の警察署及び地区防犯協会と連携して、犯罪の抑止に効果を上げている。</p>
今後の事業展開の方向	<p>・昨年、刑法犯の認知件数が8年ぶりに減少したが、防犯サポーターが果たした役割は大きい。この成果に自治体が注目し、独自に防犯サポーターを採用する市町が出てきた。今後は、防犯協会として地区協会とともに他の市町村にも働きかけていく。</p> <p>・平成15年度に結成した「女性部」については、地区協会と連携し「女性の視点」に立った防犯活動を展開していく。</p> <p>・防犯連絡所の拡充についても、引き続き行っていく。</p> <p>・自警団の結成についても、「自分の身は自分で守る」という視点から組織化を進めていく。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>中長期事業として掲げた女性部については、各年度の成果が出るよう取り組みをされたい。各事業については、刑法犯が8年ぶりに減少に転ずるなど毎年度、前年の実績に検討を加えた防犯活動に取り組んでいる。</p>	<p>目的適合性については問題なく、目的に添った各種事業について、その地域防犯活動の中核として活動している。</p>	<p>組織運営は組織並びに人員とも適正に運営されており、情報公開についてもホームページに公開するなど適正に運営されている。</p>	<p>財産管理運営は、不適正な投資による借金もなく、安全確実な資産運用に努めている。</p>	<p>刑法犯の認知件数の減少に、受託事業として行っている防犯サポーター事業の活動が犯罪の予防に寄与している部分は大きいなど成果を上げており、警察署、地区防犯協会との連携のもと効率的な運用を図っている。</p>
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	<p>推進事項 (当該団体に関係する行革大綱の推進事項を転記する。)</p>		<p>取組み状況 (左記の推進事項に対する取組状況及び今後の方向について記入する。)</p>	
法人担当課の意見	<p>中長期計画として「女性部」を設置し、今後順次各地区に広げ共通の活動を行う他、防犯連絡所の拡充、県安全なまちづくり推進委員会に参加し、推進事項の支援等積極的に取り組んでいる。</p> <p>昨年度は女性部の設置、防犯連絡所の拡充、自警団の結成、更に受託事業である防犯サポーターの運営等を効果的に行い、その結果刑法犯が8年ぶりに減少に転ずるなど効果が出ているので、本年度も引き続き、女性部の充実等各種事業を計画的にかつ積極的に推進していくことによって、犯罪のない明るい社会の実現が期待できる。</p>			